



5月10日
全国一斉
ロードショー
公開

ウツジョブ
映画「WOOD JOB!～神去なあなあ日常」

WOOD JOB!

かむさり
神去なあなあ日常

©2014「WOOD JOB!～神去なあなあ日常～」製作委員会



林業を題材とした映画「WOOD JOB!〜神去なあなあ日常」が、5月10日から全国一斉にロードショー公開されます。

この映画は、ユニークなモチーフで日本中に笑いと感動を届けてきた矢口監督が、三浦しをんさんのベストセラー小説「神去なあなあ日常」を原作に、丹念な取材を行って脚本を起こした、ノンストップ青春林業エンターテインメントです。

ストーリー

主人公は、明日の自分のゆくえも決めきれない高卒ホヤホヤの18歳男子・勇氣。

ひよんなことから生まれ育った都会から遠く離れ、携帯も繋がらない、コンビニも無い、若者もあんまりいない、山奥の村で林業に従事すること。危険と隣り合わせの超重労働に心は一瞬で折れ、すぐにでも逃げ出すつもりだったのだが…。

気の強い美人に恋したり、変わり者だらけの村の住人たちを好きになったり、山で不思議な体験をしたり、自然の絶大なる存在にかけがえのなさを感じてしまったり。

そして、なんととっても、今切り倒した木は自分達の祖先が植えたものであり、今植えた木を伐り倒すのは自分達

の子孫であるという、100年先を見据えた、気の長い未来を作る仕事——「林業」の魅力に、勇氣は次第に気付いていく——。

林業の世界を体感してもらうために

映画「WOOD JOB!〜神去なあなあ日常」の撮影は、原作小説でも神去村のモデルとなった三重県津市美杉町みすぎちょうでオールロケで行われました。

撮影は、平成25年6月5日から7月31日にかけて行われました。この映画の大きなポイントは、全ての林業シーンを吹き替え無しで、キャスト自らが演じるという演出の方針。主演の染谷将太さんは、岐阜で林業訓練を行い、チェーンソーの扱いなどをマスターし、何本か木を伐り倒す経

験を積んでから、クランクインを迎えました。

杉の木の高所で種取りをするシーンも、木の上からの景色は、林業家でなければ決して見ることの出来ない景色。それを観客にも味わって欲しいという矢口監督の強い思いで、「どんなに高くても、全て本人たちに登ってもらう。撮影しやすさを優先せず、登っている彼らの視点にカメラを近付ける」撮影が行われ、迫力と感動の林業シーンがフィルムに収められました。

また、100年後の観客にも観てもらえるよう、本作品はフィルムで撮影され、山間の自然の美しさと都会の窮屈さを描き分けるため、都会編のみデジタルカメラで撮影されています。

「WOOD JOB!〜神去なあなあ日常」 2014年5月10日(土)より全国東宝系ロードショー

監督・脚本：矢口史靖

原作：「神去なあなあ日常」三浦しをん著（徳間書店刊）

出演：染谷将太 長澤まさみ 伊藤英明

優香 西田尚美 マキタスポーツ 有福正志 近藤芳正 光石研 柄本明

映画「WOOD JOB!〜神去なあなあ日常」公式サイト
<http://www.woodjob.jp/>

facebook 神去村通信
<https://www.facebook.com/woodjob.movie>

Twitter公式アカウント
WOODJOB_MOVIE

